

地図と測量の科学館

地図と測量の科学館は、私たちの生活に欠かせない地図や測量の役割を、こどもから大人まで誰もが楽しみながら学べる体験型の施設です。社会科見学をはじめ、企業・団体の研修や視察、地域の地理・風土を学ぶ方々などにも広く御利用いただいています。

地図や測量に関する企画展や体験イベントの開催は、随時ホームページで御案内しています。

開館時間：9：30～16：30

休館日：毎週月曜日(休日の場合は順次翌日)、年末年始

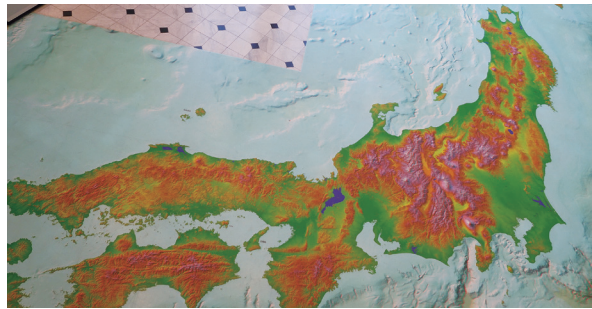
<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



施設紹介

日本列島空中散歩マップ

日本列島を縮尺10万分の1でフロア全体に描いているので、1mの歩幅では100kmになります。赤青メガネを使って見ることで、日本列島の地形が飛び出して見えるなど、陸と海の様々な地形を実感することができます。



常設展示室

作成されたそれぞれの時代の世界観が表現されている古地図、貴重な測量機器、地図作成に用いられた図化機・空中写真撮影用カメラなどを展示しており、魅力あふれる地図と測量の歴史・役割等について楽しく学べます。



地球ひろば

直径約22m、縮尺20万分1の日本列島球体模型は、地球儀の一部を切り取った球体の模型です。日本の国土の広がりや地球の丸さが体験できます。1983年まで活躍していた測量用航空機「くにかぜ(初号機)」も展示しています。



企画・イベント

企画展

年4回程度開催する企画展では、地図や測量に関する様々なテーマについて、測量成果や関連資料を用いて解説する等の展示を行います。



「国土地理院と防災」(2025年10月～12月)



全国児童生徒地図優秀作品展

全国児童生徒地図作品展連絡協議会(事務局：国土地理院)と国土地理院の共催により、全国各地の加盟団体が開催する作品展から推薦された作品を一堂に集め、全国児童生徒地図優秀作品展を4会場で開催しています。



第29回全国児童生徒地図優秀作品展
国土交通大臣賞

「測量の日」特別企画・測量体験イベント

6月3日の「測量の日」に合わせ、毎年6月の第一日曜日に特別企画イベントを開催しています。また、科学技術週間、教育・文化週間、夏休み期間等にも参加型の測量体験イベントを実施しています。



「測量の日」特別企画(2025年6月)



科学技術週間(2025年4月)



教育・文化週間(2025年11月)



夏休み期間(2025年7月)

国土地理院について

国土地理院のあゆみ

(西暦)

	民部省・内務省	工部省	兵部省・陸軍省・参謀本部
1869	民部官に庶務司戸籍地図掛を設置(明治2年)地誌の編さんと地理資料の収集にあたる		
1871		工部省に測量司を設置(明治4年)東京府下の三角測量にあたる	兵部省陸軍参謀局に間諜隊を設置(明治4年)地理調査と地図編集を担当
1874		測量司を内務省に移管	
1875	内務省が大三角測量事業を開始		
1883			一等三角測量、一等水準測量を開始
1884	内務省の大三角測量事業を参謀本部に統合		参謀本部に測量局を設置(明治17年)

1888 参謀本部測量局が陸軍参謀本部陸地測量部を経て、翌年に参謀本部陸地測量部となる(明治21年)



陸地測量部(東京市麹町区)

1891 東京の陸地測量部の前庭に日本水準原点を設置
1892 東京麻布に経緯度原点を設置(東京天文台子午環中心)
1908 2万5千分1地形図の作成を開始
1915 一等三角測量が完了
1925 全国5万分1地形図がほぼ完了(陸測の5万)

内務省・建設省・国土交通省

1945 内務省の附属機関として地理調査所が発足(昭和20年)



地理調査所(千葉県千葉市)

1948 建設省発足、地理調査所は同省の付属機関となる
1949 測量法公布
1953 基本測量長期計画を告示(昭和28年度から昭和37年度まで)以降約10年ごとに改定
1956 南極観測事業に参加
1958 千葉県千葉市から東京都目黒区へ移転



地理調査所(東京都目黒区)

1960 地理調査所を国土地理院に名称変更(昭和35年)
1969 地震予知連絡会を設置
1974 精密測地網測量を開始
1979 東京都目黒区から筑波研究学園都市へ移転
1981 VLBI装置を導入
1983 2万5千分1地形図全国整備が完了(一部離島を除く)
1984 建設省の特別の機関となる
1994 全国GPS連続観測施設の運用を開始
1996 地図と測量の科学館オープン
2001 国土交通省発足、同省の特別の機関となる
災害対策基本法に基づく指定行政機関となる
測量法改正(世界測地系に移行)
2002 電子基準点網の全国整備が完了
2003 電子国土Webシステム(現:地理院地図)の運用を開始
数値地図25000(空間データ基盤)の全国整備が完了
2007 測量法改正(測量成果の活用促進)
地理空間情報活用推進基本法公布
2011 東北地方太平洋沖地震の影響で日本経緯度原点及び日本水準原点の原点数値を改正
2014 電子地形図25000及び2万5千分1地形図の領土全域の整備が完了
石岡測地観測局を開設(VLBI観測を開始)
2015 電子地形図20万及び数値地図(国土基本情報20万)の全国整備が完了
2019 地図と測量の科学館来館者100万人達成
2022 地理空間情報活用推進基本計画(第4期)閣議決定
2024 基本測量に関する長期計画を告示(令和6年度から令和15年度まで)
中央合同庁舎2号館に防災・地理空間情報企画センターを設置
測量法改正(技術の進展に対応した担い手(測量士・測量士補)の確保)
2025 基本基準点の標高成果を改定(衛星測位を基盤とする標高体系へ移行)